

高松市立木太南小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

楽しい学校生活のもと、自ら考え行動できる

たくましい、人間性豊かな児童を育てる

めざす児童像 ～よく考える子 助け合う子 たくましい子～

【本校の課題】

- 男女とも、多くの学年で反復横跳び、立ち幅跳び、長座体前屈の値が低く、県・全国平均を下回っている。
- 5年生では男女ともに、土日の学校の体育の授業以外での運動やスポーツの時間が県・全国平均を下回っている。また、女子は「運動が好き」、「運動が得意」と思っている割合が県・全国を下回っている。

【現状】

休み時間等には元気よく運動場で遊んでいる姿が見られる一方、教室や図書室で友達と話している児童も多く、二極化している。また、多くの子どもたちがボールを使った遊び（ドッジボールやハンドベースボールなど）が中心で、遊具などで遊ぶ姿は少ない。

体育の授業においては、全校生の人数の関係で、体育館を使用する時間が決まっており、体育館での単元を通しての学習が難しい。

【取組み】

カードを使っでの意欲付け

鉄棒検定表、持久走カードなどを作成することで、友達と競い合ったり、昨年度の自分と比べたりしながら取り組めるようにする。また、賞状を渡すことで意欲を高められるようにする。



毎週水曜日をのびのびタイムに

1週間の総運動時間を延ばすために、毎週水曜日に「のびのびタイム」を設定し、昼休みの時間を45分間に延長することで、しっかり外で遊ぶことができるようにする。



体力アップタイム

体育授業の開始5分間を使って、運動場や体育館を走ったり、連続馬跳びや長なわとび、キャッチボール、遊具を使っでのサーキットトレーニング等の運動を行ったりすることで、基礎体力を高められるようにする。

体育委員会による運動講座

体育委員が昼休みになわとび、鉄棒などの運動講座を行い、技の手本を見せたり、練習時間に参加者に鉄棒グッズを使ってアドバイスをしたりして、楽しみながら取り組めるようにする。



木太南なわとびカップ

技や回数によって初級・中級・上級コースを設定し、できた技に自分の名前シールを貼っていく。低・中・高学年ごとにシールの色を決め、1・2年生は初級、3・4年生は中級、5・6年生は上級からスタートするが、1～4年生は、飛び級できるようにする。その一覧表を全校生が見られるところに掲示することで、意欲を高められるようにする。



【目標】

- H32年度までに新体力テストの全種目で全国平均より上を目指す。
- 色々な運動を知り、家族と家庭でも取り組めるようにする。
- 運動場で積極的に遊び、色々な運動にチャレンジしようとする児童を育成する。